

男女共同参画に関する市民アンケートのお願い

市民の皆さまには、日頃から市政についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、倉敷市では、「第四次くらしきハーモニープラン」に基づいて、性別にかかわらず、人権を尊重され、個性と能力が発揮できるまちづくりに取り組んでいます。

このアンケートでは、市民の皆様の男女共同参画に関するお考えや実情などをお伺いし、今後の計画策定の基礎資料とさせていただくことを目的に実施するものです。アンケート調査の結果は、ホームページなどを通じて一般に公開するとともに、計画目標の達成状況把握などに活用し、今後の市政運営に役立ててまいります。

アンケートをお願いする方は、倉敷市にお住まいの18歳以上の方から3,500人を無作為に抽出させていただきました。(令和6年7月31日現在)

このアンケートは無記名で回答していただくもので、個人の秘密がもれたり、他の用途に使われたりなどのご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠にお手数ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年8月

倉敷市長 伊東香織

ご記入にあたってのお願い

☆回答は封筒の宛名ご本人にお願いします。お名前は記入しないでください。

☆無作為抽出による任意のアンケート調査です。諸事情により回答できない場合などは、ご負担を強いるものではありません。

☆質問は25問、回答にかかる時間は15～20分程度です。

☆記入後は、同封の返信用封筒(切手不要)を使って、**令和6年9月17日(火)**までに郵便ポストに入れてください。

☆パソコンやスマートフォンからインターネットを利用した電子申請システムでも回答できます。

URL <https://○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○>

2次元バーコードからもアクセスできます。通信料はご回答者様のご負担となります。

【お問合せ先】

倉敷市人権政策部男女共同参画課

〒710-8565

倉敷市西中新田640番地

電話 086-426-3105

FAX 086-426-0990



男女共同参画に関する市民アンケート

回答にあたっては、当てはまる項目を○で囲んでください。

あなたについておたずねします。回答時の状況をお答えください。

F 1 性別	1 男性	2 女性	3 答えたくない	4 ()
F 2 年齢	1 18、19歳		4 40歳代	7 70歳以上
	2 20歳代		5 50歳代	
	3 30歳代		6 60歳代	
F 3 職業	1 勤め人(常勤)		4 専業主婦・専業主夫	7 その他
	2 農業・自営業		5 学生	()
	3 パート・内職		6 無職	
F 4 結婚の経験	1 未婚		3 離別・死別	
	2 既婚(事実婚含む)			
「2既婚」と答えた方におたずねします。				
F 5 共働きですか	1 共働き		2 共働きでない	
F 6 世帯構成	1 本人だけ		3 親・子(2世代)	5 その他
	2 夫妻だけ		4 親・子・孫(3世代)	()
子どもがいる方におたずねします。				
F 7 小学校入学前の子どもはいますか	1 いる		2 いない	
F 8 介護を必要とする人はいますか	1 いる		2 いない	

男女平等意識についておたずねします。

問1 ア～カの項目について、男女は平等になっていると思いますか。それぞれ1～4の中から1つ選んでください。

	平等になっている	男性が優位	女性が優位	わからない
ア 家庭の中で	1	2	3	4
イ 職場の中で	1	2	3	4
ウ 学校の中で	1	2	3	4
エ 地域社会の中で	1	2	3	4
オ 政治の中で	1	2	3	4
カ 慣習・しきたり	1	2	3	4

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中から1つを選んでください。

1 同感する	2 どちらとも言えない	3 同感しない
--------	-------------	---------

問3 【問2で「1 同感する」を選んだ方におたずねします。】

同感する理由として、次の中からあなたの考えに最も近いものを1つを選んでください。

1 男性は仕事、女性は家事・育児・介護に向いている
2 家族を養うのは男性の責任で、家事・育児・介護は女性の責任である
3 妻が働きに出ると、家事・育児・介護に差し支える
4 女性は仕事を持って、不利な状況におかれる
5 夫と妻の役割分担をはっきりした方が、家庭生活がうまくいく
6 その他 ()

問4 これからは、どのような考え方のもとで子どもを育てるのが望ましいと思いますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを1つを選んでください。

1 「男は仕事、女は家庭」という役割分担を守るよう育てる
2 女の子も経済的に自立できるよう、男の子も家事ができるよう育てる
3 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる
4 男女のわけへだてなく、その子の個性を大事に育てる
5 その他 ()

ワーク・ライフ・バランス(※) についておたずねします。

※ワーク・ライフ・バランス

働き方の見直しなどにより、個人の価値観に基づく多様な選択(仕事、家庭生活、地域活動、個人活動などさまざまな活動を自らの希望するバランスで行うことができる)が可能な社会をつくり、意欲をもって働きながら豊かさを実感して暮らせるようになること

問5 あなたの一日平均の労働時間はどれくらいですか。次の中から当てはまるものを1つを選んでください。

1 仕事をしていない	5 8時間～10時間未満
2 3時間未満	6 10時間～12時間未満
3 3時間～6時間未満	7 12時間以上
4 6時間～8時間未満	

問6 あなたが一日(仕事をしている日)に家事・育児・介護に関わる時間はどれくらいですか。次の中から当てはまるものを1つを選んでください。

1 家事・育児・介護はしていない	4 1時間～3時間未満
2 30分未満	5 3時間～6時間未満
3 30分～1時間未満	6 6時間以上

問7 仕事、家庭、プライベート（趣味・ボランティアなどの自分の自由な時間）において、次の中からあなたが望ましいと思う生活を1つ選んでください。

1 仕事を優先	5 仕事とプライベートを優先
2 家庭を優先	6 家庭とプライベートを優先
3 プライベートを優先	7 仕事と家庭とプライベートの調和
4 仕事と家庭を優先	

問8 では、あなたの現在の生活はどうでしょうか。次の中から、最も近いものを1つ選んでください。

1 仕事を優先	5 仕事とプライベートを優先
2 家庭を優先	6 家庭とプライベートを優先
3 プライベートを優先	7 仕事と家庭とプライベートの調和
4 仕事と家庭を優先	

問9 仕事、家庭、プライベートの調和を進めるためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

1 労働時間短縮や休日増加の推進	6 育児や介護のための休暇制度や休暇中の諸手当の充実
2 働き方、仕事の進め方の見直し	7 結婚・出産・介護などの理由で退職した社員の再雇用制度の充実
3 賃金・仕事内容など、労働条件での男女格差の是正	8 仕事と家庭の両立などについて相談できる窓口の設置
4 男性の家事・育児・介護への参加促進	9 その他（ ）
5 保育施設、介護のための施設・サービスの拡充	

セクシュアル・ハラスメント(※) についておたずねします。

※セクシュアル・ハラスメント

相手の意に反した性的な言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布などさまざまなものがある。一般に「セクハラ」と略して使われる。職場以外でも問題になっている。

問10 あなたの身近なところ（職場・地域・学校）に、セクハラがありますか。次の中から1つ選んでください。

1 自分自身が受けたことがある	3 見たり聞いたりしたことがある
2 自分自身がしたことがある	4 ない

問11 【問10で「1 自分自身が受けたことがある」を選んだ方におたずねします。】

どこでそのようなことがありましたか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1 職場	4 地域活動
2 学校	5 その他（ ）
3 部活動、サークル活動	

ドメスティック・バイオレンス(※) (DV) についておたずねします。

※ドメスティック・バイオレンス

夫婦（恋人）間暴力のことで、パートナーからの暴力をいう。殴る、蹴るなどの身体的暴力だけでなく、言葉による精神的暴力、性的暴力などいろいろな形がある。一般に「DV」と略して使われる。

問 12 あなたの身近に DV はありますか。次の中から 1 つ選んでください。

1 自分自身が受けたことがある	3 見たり聞いたりしたことがある
2 自分自身がしたことがある	4 ない

問 13 【問 12 で「1 自分自身が受けたことがある」を選んだ方におたずねします。】

それはどのようなものでしたか。当てはまるものをすべて選んでください。

1 殴る、蹴る、髪を引っ張る、物を投げつけるなど、直接身体に危害を加える行為
2 無視する、怒鳴る、大切なものを壊したり捨てたりするなどの行為
3 行動や他人とのやり取りを監視する、外出を妨げる、家族や友人との付き合いを制限する、就業や社会参加を制限するなどの行為
4 生活費を渡さない、働かせない、お金の使途を細かくチェックするなどの行為
5 意思に反した性的行為の強要、避妊に協力しないなどの行為
6 子どもの前で暴力をふるう、子どもの前でばかにするなどの行為

問 14 【問 12 で「1 自分自身が受けたことがある」を選んだ方におたずねします。】

だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

1 相談した	2 相談しなかった
--------	-----------

問 15 【問 14 で「1 相談した」を選んだ方におたずねします。】

あなたが相談した先について、次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1 親族、友人・知人	6 人権擁護委員
2 医師・カウンセラー	7 行政の相談窓口（ウイズアップくらしき、女性相談支援センター等）
3 弁護士	8 民間の相談窓口
4 警察	9 その他
5 民生委員	

問 16 【問 14 で「2 相談しなかった」を選んだ方におたずねします。】

相談しなかった理由は何ですか。次の中から当てはまるものを 2 つまで選んでください。

1 相談するところがわからなかった	5 世間体が気になったり家庭内のことを人に知られたくなかった
2 自分さえ我慢すれば家庭はこわれなかった	6 相手の行為が DV だと思わなかった
3 自分にも悪いところがあると思った	7 その他（ ）
4 相談することで、よりひどい暴力や仕返しをされるのが怖かった	

問 17 DVに関する相談窓口を知っていましたか。

1 知っていた	2 知らなかった
---------	----------

問 18 DVの問題について、どのような支援や対策が必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

1 DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発	5 被害者への相談窓口を増やしたり、相談窓口の情報の提供
2 学校での人権教育を通じた暴力等を防止する教育の充実	6 被害者への専門家などによる法的援助
3 地域や職場で行う暴力等を防止するためのセミナー、研修会などの充実	7 被害者への医師などによる医療・心理的援助
4 被害者の身の安全を確保できる場所（シェルター等）の提供	8 被害者への経済的な自立に向けた支援
	9 加害者への指導やカウンセリング
	10 加害者への罰則の強化
	11 その他（ ）

倉敷市の男女共同参画施策についておたずねします。

問 19 ア～カの項目について、倉敷市の男女共同参画は実現していると思いますか。それぞれ1～5の中から1つ選んでください。

	実現している	ほぼ実現している	あまり実現していない	実現していない	わからない
ア 性別にかかわらず、育児休業や介護休業をとりやすくすること	1	2	3	4	5
イ 性別にかかわらず、自由に職業を選べるようにすること	1	2	3	4	5
ウ 男性の仕事中心の生き方・考え方を改めること	1	2	3	4	5
エ あらゆる分野で女性が登用され、方針決定の場へ女性が参画すること	1	2	3	4	5
オ 自由に地域の行事に参加したり、趣味を楽しむゆとりがあること	1	2	3	4	5
カ メディアの露骨な性や暴力の表現をなくすこと	1	2	3	4	5

問 20 男女共同参画社会の実現のために、倉敷市はどのようなことに取り組みばよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

1 学校における男女平等意識のための教育の充実	6 企業等に対する労働時間短縮の働きかけ
2 男女差別となる慣習やしきたりなどを改めるための啓発	7 育児の支援を行うための制度や保育施設の充実
3 男性の家事・育児・介護への積極的参加を進めるための啓発	8 介護の負担を軽減するための制度やサービスの充実
4 DVの防止と被害者支援の充実	9 妊娠・出産に関する相談窓口のほか、女性の健康についての相談窓口の充実
5 企業等に対する女性活躍のための環境整備の働きかけ	10 メディアの露骨な性や暴力の表現をなくすこと
	11 その他 ()

性的マイノリティ（LGBT）（※）についておたずねします。

※性的マイノリティ・LGBT

レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（性別不適合など心と体の性が一致しない人）などの総称

問 21 あなたは性的マイノリティまたはLGBTという言葉の意味を知っていましたか。

1 知っていた	2 知らなかった
---------	----------

問 22 倉敷市が、性的マイノリティに対する取り組みを行っていることを知っていましたか。

1 知っていた	2 知らなかった
---------	----------

問 23 性的マイノリティの人権を守るため、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをすべて選んでください。

1 学校教育現場での取り組み（性の多様性に関わる授業、制服・トイレの配慮）	3 広報誌、ホームページ、講演会等での啓発
2 相談窓口の設置	4 公的施設や窓口での不便解消
	5 その他 ()

性別による「責任」や「つらさ」についておたずねします。

問 24 自身が男性であることや女性であることに「責任」や「つらさ」を感じることはありますか。

1 ある	2 ない
------	------

問 25 【問 24 で「1 ある」を選んだ方におたずねします。】

そう感じる理由について、次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1 なにかにつけ、「男（女）だから」「女（男）のくせに」と言われる	7 家事、育児、介護の負担が大きいと感じる
2 自分の容姿を理由に軽くあつかわれる	8 仕事や所属する団体で仕事を任せてもらえない
3 力が弱い、スポーツが苦手だと軽く見られる	9 仕事や所属する団体で責任を引き受けざるを得ない
4 周囲よりも収入が低いのではないかと感じる	10 本当は苦しいが、弱音を吐くことができない
5 性別を理由に希望する進路や進学先に反対された	11 その他（ ）
6 家族を養う責任をプレッシャーに感じる	

性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らせる社会づくりに向けて、ご自由にご意見をお書きください。

倉敷市の男女共同参画の実現に向けて、市民の方にしていただけることについて、ご自由にご意見をお書きください。

**ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）を使って、
9月17日（火）までにポストに入れてください。**